

目 次

| | | |
|--|--------|----|
| 巻 頭 言 | 松永 千秋 | 1 |
| 追 悼 文 | 中塚 幹也 | 3 |
| 診 療 | | |
| 性同一性障害および女性化乳房に対する乳房切除術Hage法への肥満が及ぼす影響と対策 | 川上 善久 | 9 |
| 児童思春期性別違和の理解と支援について | 西藤奈菜子 | 17 |
| GID（性同一性障害）学会 第18回研究大会・総会 プログラム・抄録集 | | 27 |
| 基調講演 | | |
| GIDとライフサイクル | 松永 千秋 | 36 |
| シンポジウム1：「幼児期・児童期のGIDに対する理解と支援」 | | |
| 1. 幼児期・児童期のGIDに対する理解と支援のコンセンサス形成に向けて —幼児期・児童期GID対応経験者に対するアンケート結果から— | 中山 浩 | 38 |
| 2. 児童思春期GIDの臨床経験からの報告 | 織田 裕行 | 41 |
| 3. 児童期GIDの支援について | 西藤奈菜子 | 42 |
| 4. 幼児期・児童期のGIDに対する理解と支援 —二次性徴抑制療法について— | 康 純 | 43 |
| 特別講演 | | |
| 性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について | 中安 史明 | 47 |
| シンポジウム2：「青年期・成人期のGIDに対する理解と支援」 | | |
| 1. 青年期・成人期の当事者における就労，家族，健康 —現状と課題および支援— | 山本 和儀 | 50 |
| 2. 心理発達課題からみた青年期と成人期 | 佐々木 掌子 | 54 |
| 3. ホルモン療法の実際と課題 | 中塚 幹也 | 56 |
| 4. 親としてカミングアウトを受け入れるとは | 松尾 祐美 | 61 |
| 一般演題1 | | |
| 1. 当科における陰茎形成術の歴史と今後の展開 | 古屋 恵美 | 62 |
| 2. 両側薄筋を使う事で意図的な動きを可能にした陰茎再建の一例 | 中山 由衣 | 64 |
| 3. ジェンダー関連疾患に対するSRS（性別適合手術）の応用 | 渡邊 敏之 | 65 |
| 4. SRSに伴う合併症評価と治療の経験 | 松尾かずな | 67 |
| 一般演題2 | | |
| 5. 小児科医における性同一性障害の子どもへの対応の実態と意識 | 松岡 敬典 | 68 |

| | | |
|--|-------|----|
| 6. 今村病院泌尿器科および鹿児島大学病院泌尿器科における性同一性障害外来の現況 | 内田 洋介 | 73 |
| 7. 総合病院における診療連携型「沖縄ジェンダーセンター」の組織化と運営 | 親富祖勝己 | 74 |
| 8. おきなわジェンダーセンターにおけるGID診療の取り組みとその現状 | 渡慶次里美 | 77 |

一般演題3

| | | |
|---|-------|----|
| 9. 超並列高速シーケンサーによる性同一性障害当事者ゲノムDNAをもちいた全エクソーム解析 | 仲地 豊 | 79 |
| 10. 子宮移植の手術手技—基礎研究を通して見えてきた課題— | 三原 誠 | 82 |
| 11. 性同一性障害（MTF）における女声発声に関する声楽的な視点からの考察 | 武田 由美 | 85 |

当事者団体企画・ワークショップ1：「LGBT-JAPAN」

| | | |
|--|------|----|
| 1. GID当事者のライフサイクルを生命保険の観点から考える | 田附 亮 | 88 |
| 2. 同性婚とパートナーシップ条例, そして正式な相続方法—LGBT Ally弁護士が真実を明かす— | 田附 亮 | 89 |
| 3. LGBTの各ライフステージで困っている服装と, 正しい靴の選び方 | 田附 亮 | 90 |

ポスター

| | | |
|---|-------|----|
| 1. 性同一性障害（性別違和症）のある学生に対して大学が支援できることはなにか？—障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律施行を前にして— | 田実 潔 | 91 |
| 2. 性的マイノリティをテーマに看護学生が創る授業の意味 | 平上久美子 | 93 |

ワークショップ：「当事者が語る, 仕事, 家族, 人生」

| | |
|-------|----|
| 山口マサト | 96 |
| 古田かずみ | 99 |
| 他4名 | |

シンポジウム3：「中年期・老年期のGIDに対する理解と支援」

| | | |
|--|-------|-----|
| 1. 中年期・老年期の性同一性障害当事者にみられる特徴と支援 | 石丸径一郎 | 103 |
| 2. 中高年における性別違和の現状と課題 | 針間 克己 | 103 |
| 3. 加齢とライフサイクルに配慮した老年期の当事者支援—高齢者の健康と性差・性役割を考える— | 松本 洋輔 | 108 |
| 4. 「在職トランス」と職場の声 | 鶴田 幸恵 | 111 |

シンポジウム4：「外科的治療—現状と課題」

| | | |
|------------------------------|-------|-----|
| 1. 岡山大学病院におけるSRSの現状と全体としての課題 | 難波祐三郎 | 112 |
| 2. 札幌医科大学における性別適合手術の現状と課題 | 舩森 直哉 | 114 |
| 3. GIDの外科治療における現状と課題 | 百澤 明 | 117 |
| 4. ナグモクリニックの性同一性障害への取り組み | 山口 悟 | 119 |

シンポジウム5：「ジェンダーと精神疾患—哲学との対話」

1. 本質の揺らぎとしてのGID …………… 三木那由他 …… 122
2. ジェンダー存在論から語る性別違和 …………… 西條 玲奈 …… 126
3. 自律性が損なわれるとき：分析的フェミニズムが提案する関係的
アプローチ …………… 渡辺 一暁 …… 130
4. DSMにおける性同一性障害概念の変遷と精神疾患概念
—性同一性障害と精神病理性に関する議論の前提として— …………… 松永 千秋 …… 133

一般演題4

12. 性同一性障害当事者が考える人生の意味や目的について
—PIL (the Purpose In Life) テストを用いて— …………… 下橋場幸子 …… 135
13. 性同一性障害当事者の出生年とMMPI臨床尺度との関連 …………… 新井田愛美 …… 138
14. 「テスト・スタンダード」からみた採用試験適性検査へのMMPI
使用の問題点 …………… 岩本 健良 …… 140
15. 小学生の頃のFTM当事者の「封じ込める」体験とカミングアウト
の困難性 …………… 藤田 志保 …… 143

一般演題5

16. ホルモン投与によるFemale-to-Maleの体重・体脂肪率・筋肉量変
動とその自覚 …………… 正岡 美麻 …… 148
17. 40歳以上のMTF当事者に対する女性ホルモン療法について
—当科での経験— …………… 谷口 憲 …… 151
18. FTM GID当事者における男性ホルモン療法開始前の抗ミュラー
管ホルモンについての検討 …………… 松本加奈子 …… 153

一般演題6

19. 当施設における乳房切除術50例の考察 …………… 小野健太郎 …… 155
20. MTF性同一性障害者に対する女性顔にする手術の経験 …………… 百澤 明 …… 156
21. GID MTFに対する甲状軟骨形成術IV型 …………… 廣芝 新也 …… 158

一般演題7

22. 岡山大学病院ジェンダークリニック受診者と家族の会—活動報告— …………… 野原ナオコ …… 160
23. GID特例法と性別変更を求める者の健康と生活に関する考察 …………… 真木 柁鷹 …… 162
24. SNSを活用！【個性を生かした、自分らしく輝く生き方】の実現
—組織に属さず、個人の力で生きる— …………… Rin …… 164
25. 当事者の経験からみる個人で出来るMtF変声ボイストレーニン
グの実践方法 …………… 丹羽奈緒子 …… 165
26. 身体違和は一枚岩ではない …………… 佐倉 智美 …… 167

特別ワークショップ：「GIDにおけるボイストレーニング」

- GID（性同一性障害）におけるボイストレーニング …………… 武田 由美 …… 170

当事者団体企画・ワークショップ1：「LGBT-JAPAN」

(第18回研究大会第1日目と同内容)

1. GID当事者のライフサイクルを生命保険の観点から考える …………… 田附 亮 …… 88

| | | |
|--|------|----|
| 2. 同性婚とパートナーシップ条例, そして正式な相続方法—LGBT Ally 弁護士が真実を明かす— | 田附 亮 | 89 |
| 3. LGBTの各ライフステージで困っている服装と, 正しい靴の選び方 | 田附 亮 | 90 |

当事者団体企画・ワークショップ2: 「NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会」

| | | |
|---------------|--------|-----|
| カミングアウトというバトン | 小林りょう子 | 174 |
|---------------|--------|-----|

ポスター (第18回研究大会第1日目と同内容)

| | | |
|---|-------|----|
| 1. 性同一性障害(性別違和症)のある学生に対して大学が支援できることはなにか? 一障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律施行を前にして— | 田実 潔 | 91 |
| 2. 性的マイノリティをテーマに看護学生が創る授業の意味 | 平上久美子 | 93 |

関連研究会報告

| | | |
|--------------------------|--|-----|
| 第7回GID手術手技研究会—合併症の救済と予防— | | 176 |
|--------------------------|--|-----|

資 料

| | | |
|----------------------------------|--|-----|
| 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律 | | 177 |
| 性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について | | 179 |

| | | |
|-----|--|-----|
| 会 則 | | 183 |
|-----|--|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 学会役員 | | 185 |
|------|--|-----|

| | | |
|---------|--|-----|
| 過去の研究大会 | | 186 |
|---------|--|-----|

| | | |
|-------|--|-----|
| 認 定 医 | | 187 |
|-------|--|-----|

| | | |
|-----------|--|-----|
| エキスパート研修会 | | 188 |
|-----------|--|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 投稿規定 | | 189 |
|------|--|-----|

| | | |
|-------|--|-----|
| 入会申込書 | | 193 |
|-------|--|-----|

| | | |
|-----------|--|-----|
| 会員登録内容変更届 | | 194 |
|-----------|--|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 編集後記 | | 195 |
|------|--|-----|

| | | |
|-----|--|-----|
| 広 告 | | 196 |
|-----|--|-----|